

3. 今後の渋滞対策

各関係機関よりご報告をお願いします

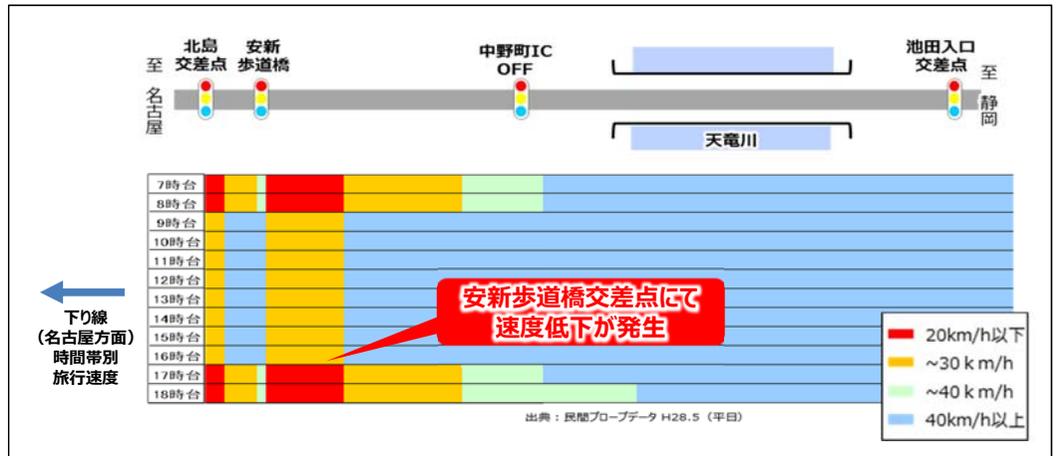
1. 国道1号 安新歩道橋（実施主体:国交省）

- 安新歩道橋交差点では、西進交通（国道1号浜松バイパス方面への交通）による渋滞が発生
- 安新歩道橋交差点部で速度低下や追突事故等による安全性の低下が課題
- 平成30年度より調査設計を実施し、国道1号方面レーンの2車線化について、今後は関係機関協議を進めていく

■対策位置

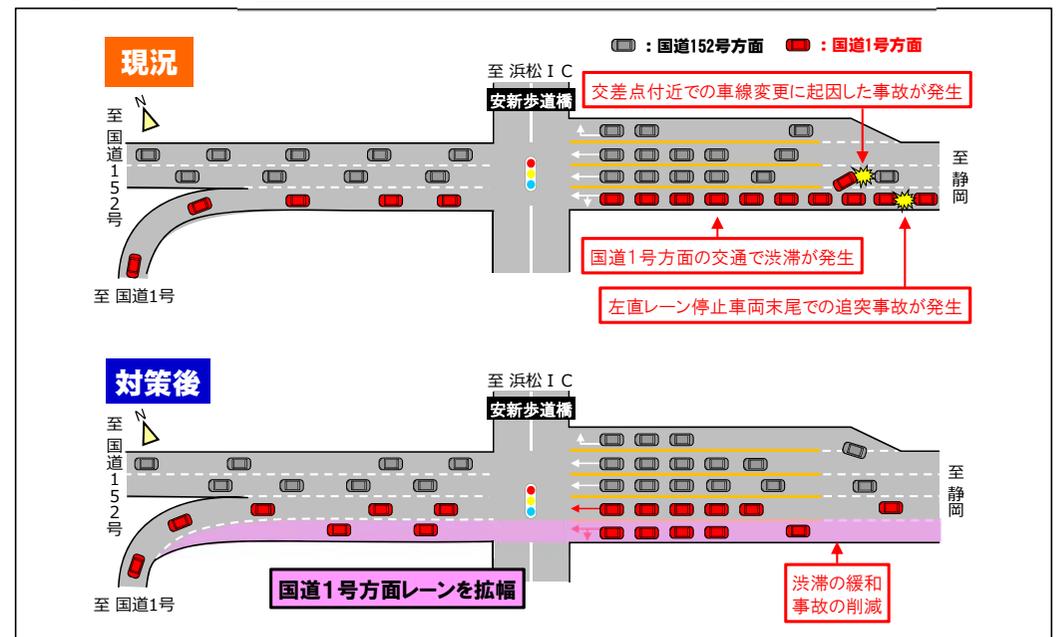


■現状の交通課題（速度状況）



■対策イメージ

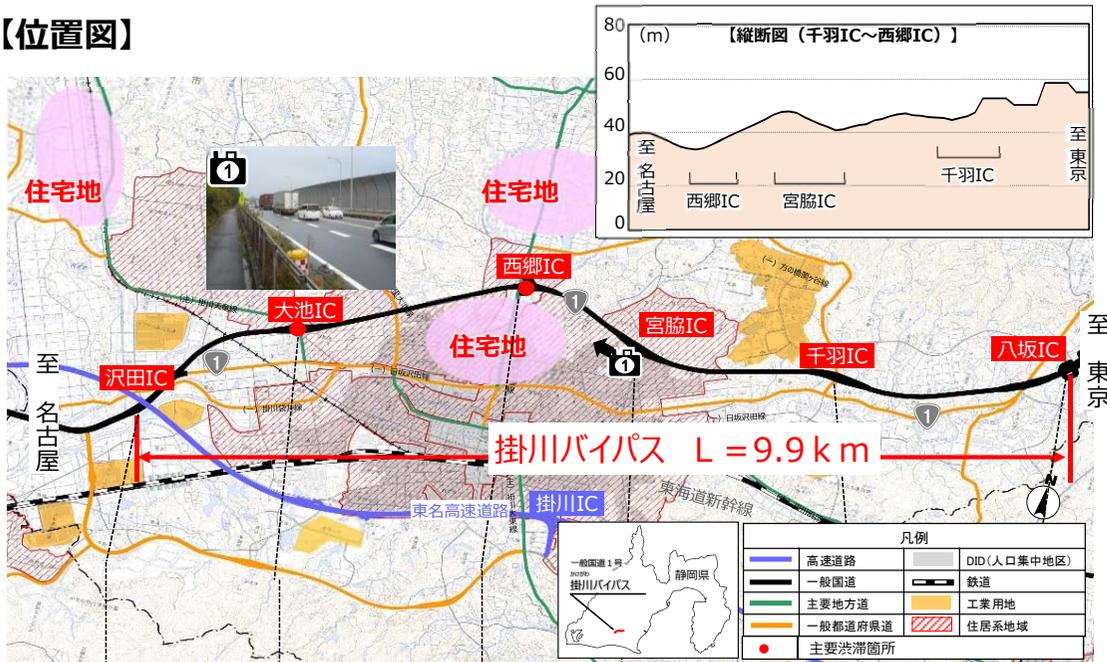
※対策後の形状は現時点での設計案であり、今後関係機関協議を実施していく。



2. 国道1号掛川バイパス 西郷ICランプ改良（実施主体:国交省）

- 国道1号掛川バイパスでは、下り線の西郷IC付近で交通集中・道路構造（加速車線長不足）による顕著な速度低下が発生
- 今年度より調査設計を実施し、西郷IC下りオンランプの改良による合流の円滑化を図り、渋滞緩和及び交通事故を防止

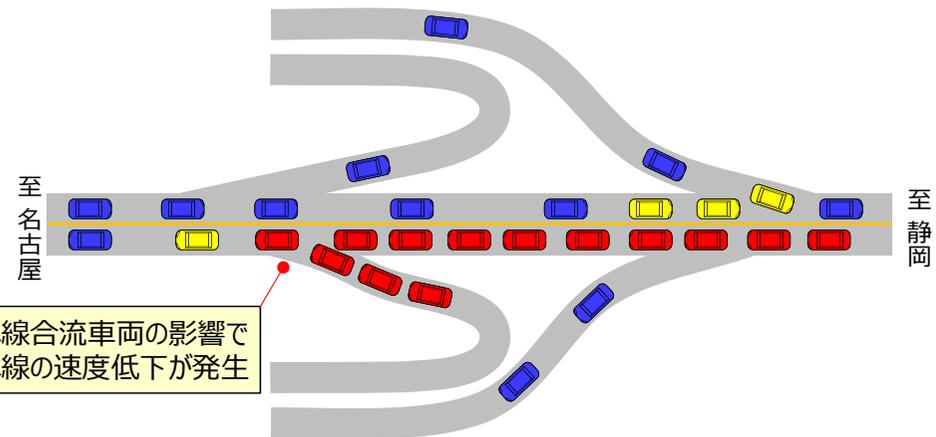
【位置図】



【対策】 西郷IC：下りオンランプ改良

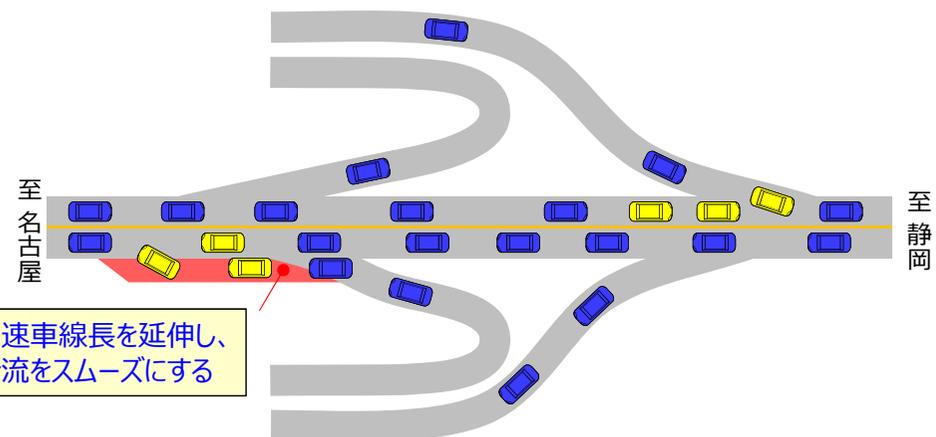
対策前

直進車両をと下りオンランプからの合流車両の錯綜により急ブレーキが多発し、速度低下発生



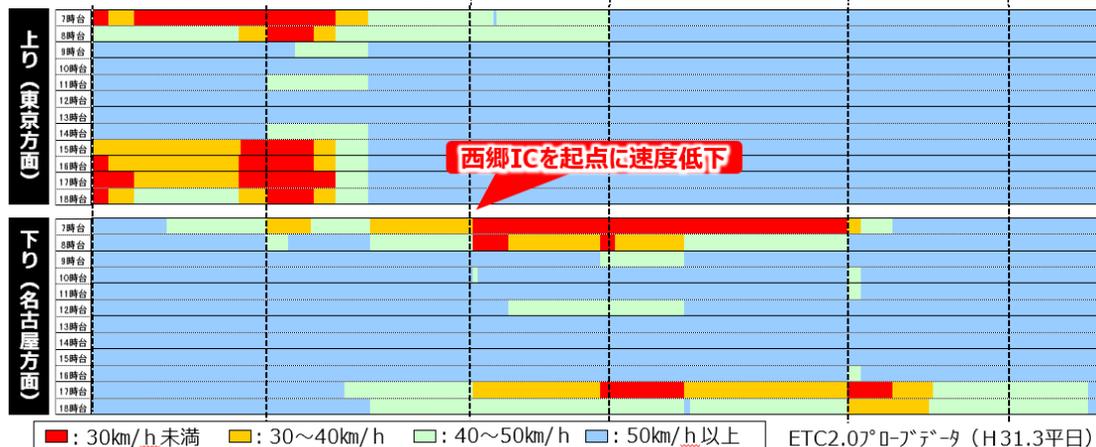
対策後

合流をスムーズに行えるよう、加速車線を延伸



【分析結果】

■ 時間帯別旅行速度（平日）

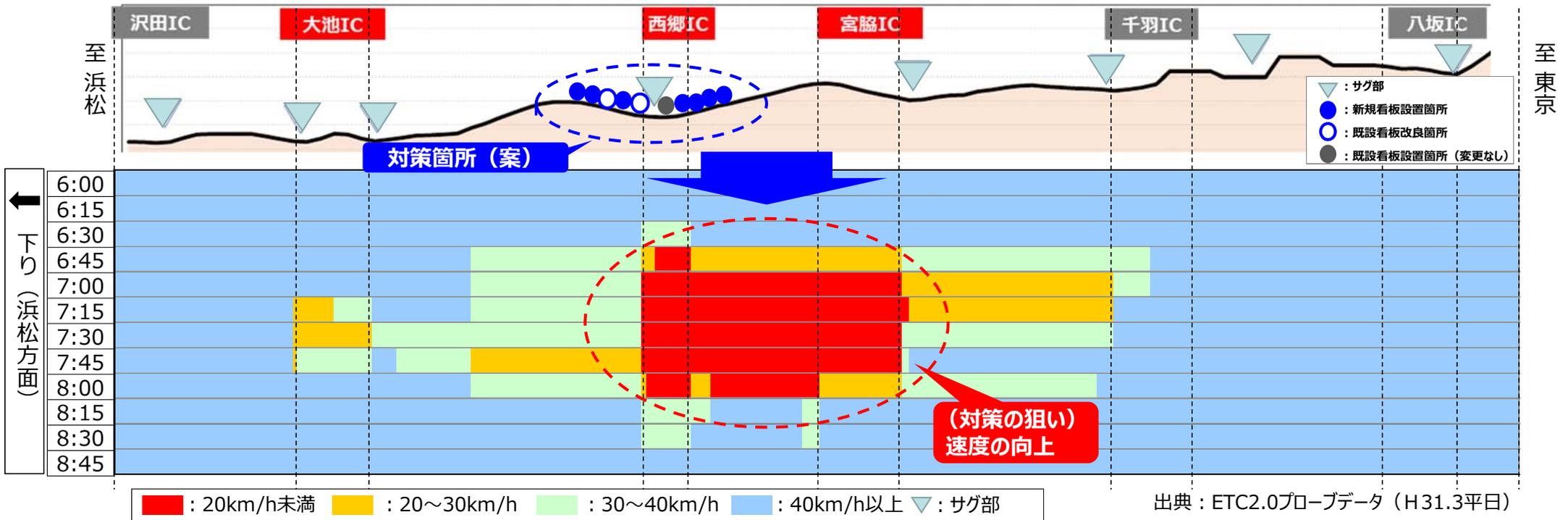


3. 掛川バイパス 下り線へのSL看板設置(実施主体:国交省)

- 平成30年度に実施した上り線のS L看板において、速度が向上し渋滞が緩和したことを踏まえ、同様の対策を下り線に展開
- 下り線のサグ部において、平成28年度に設置したS L看板の改良及び、追加設置を検討

■下り線(西郷IC~宮脇IC)への展開

西郷IC付近のサグ部：既存のS L看板の改良及び追加設置(上り線と同様に100m間隔の連続設置)
 ※速度低下の起点が西郷IC付近のサグ部のため、西郷ICサグ部の前後にS L看板を追加設置(既設改良含む)



■今年度の予定

S L 看板の設置: 11月上旬~下旬
 効果検証: 2月下旬までに検証

■S L 看板(案)

サグ部前(下り坂)



サグ部後(上り坂)



IC合流部



既設看板改良



4. 長沼交差点（実施主体：静岡市・国交省）＜検討中＞

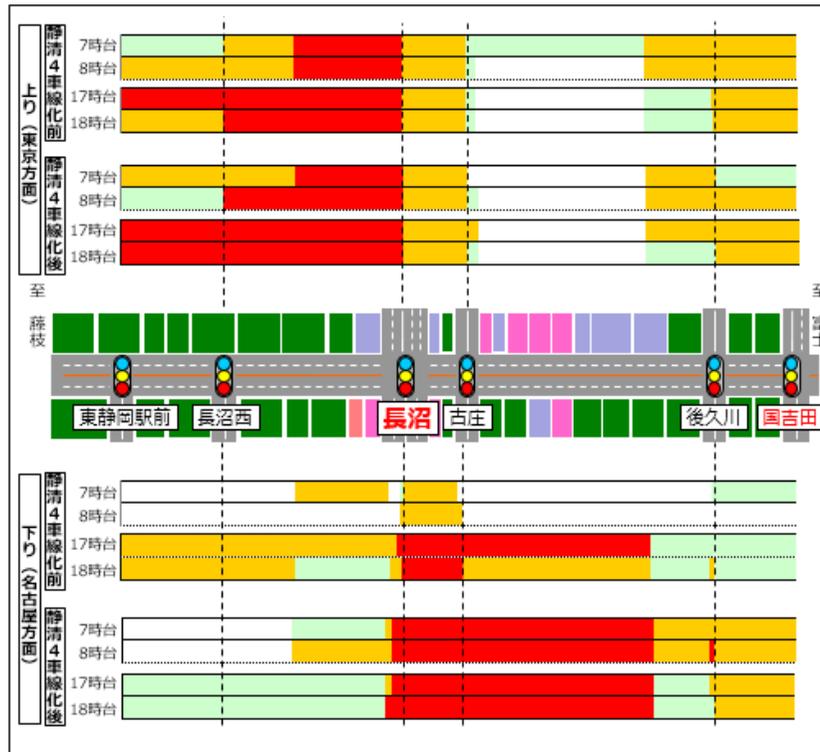
4-1 長沼交差点の交通状況

- 静清バイパス全線4車線後においても、国道1号・（主）山脇大谷線ともに渋滞が残存
- 令和元年9月14日の日本平久能山SIC開通により更なる交通量の増加が想定される
- ⇒ 長沼WGを設置して渋滞対策を検討する

■ 長沼交差点の周辺状況



■ 国道1号現道（東静岡駅前～国吉田交差点間）

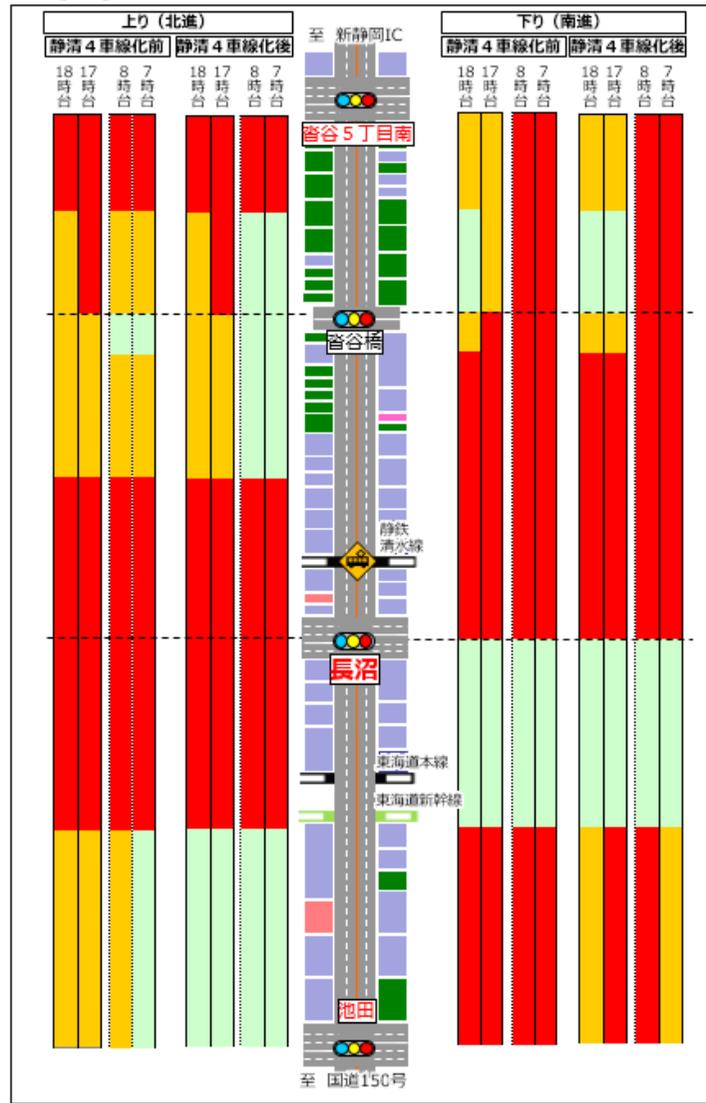


（交差点名）：赤字 主要渋滞箇所 緑：店舗 粉：住宅 赤：マンション 青：工場・企業

【凡例】 赤：～20km/h 黄：20～30km/h 緑：30～40km/h 白：40km/h～

※旅行速度：4車線化前 ETC2.0データ（H30年6月平日）
4車線化後 ETC2.0データ（R元年6月平日）
※DRM区間別データ
※時間帯平均速度

■ （主）山脇大谷線（沓谷5南～池田交差点間）



4. 長沼交差点（実施主体：静岡市・国交省）＜検討中＞

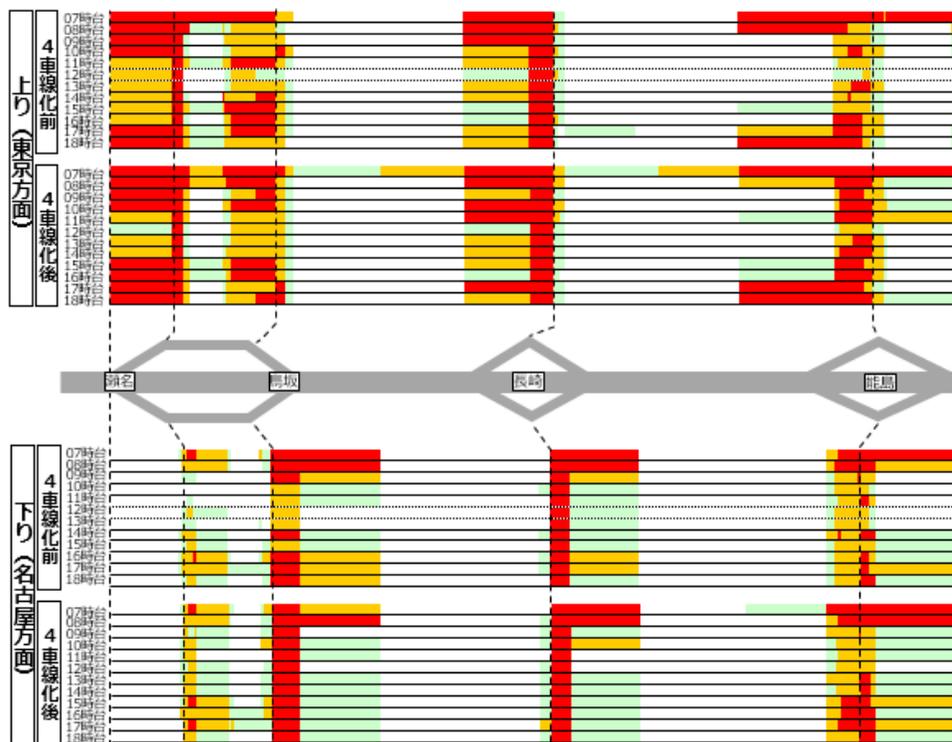
4-2 長沼交差点の概要(静岡市)

- 静岡市内の主要な東西軸である国道1号及び、南北軸である（主）山脇大谷線は、この4月に重要物流道路の指定がされ、交差する「長沼交差点」は広域的な物流の要衝となった
- 令和元年9月14日の日本平久能山SICの開通により、（主）山脇大谷線は、新東名、国道1号静岡バイパス、国道1号現道、東名と接続され、地域資源の効果的な連携、観光拠点へのアクセス性向上、救急搬送の迅速化、広域的な物流に資するなど、幅広い効果が期待される
- 「長沼交差点」において、慢性的な渋滞が発生していることで、市民生活や地域産業へ多大な経済損失を与えており、静岡市の経済活動を維持し、災害時の迅速かつ確実な物資輸送を実現するためには、長沼交差点の渋滞対策を検討することが必要
- 長沼交差点の渋滞については、各道路利用者団体より、渋滞対策の要望がされている

5-1 瀬名IC・鳥坂IC交差点の交通状況

- 瀬名IC～鳥坂IC間は、静岡バイパス全線4車線化後において、局所的な交通集中が引き続き発生
- 主要な南北の道路と接続する他のIC部においても、清水立体の整備により交通量の増加が見込まれるため、将来ネットワーク整備による影響を踏まえた渋滞対策を検討する

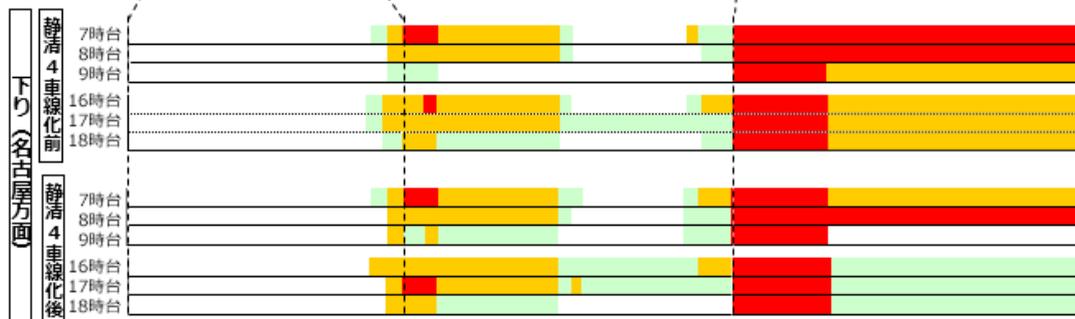
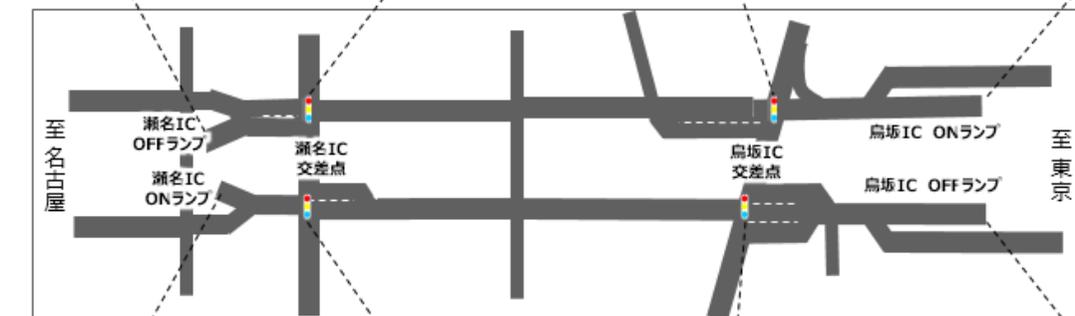
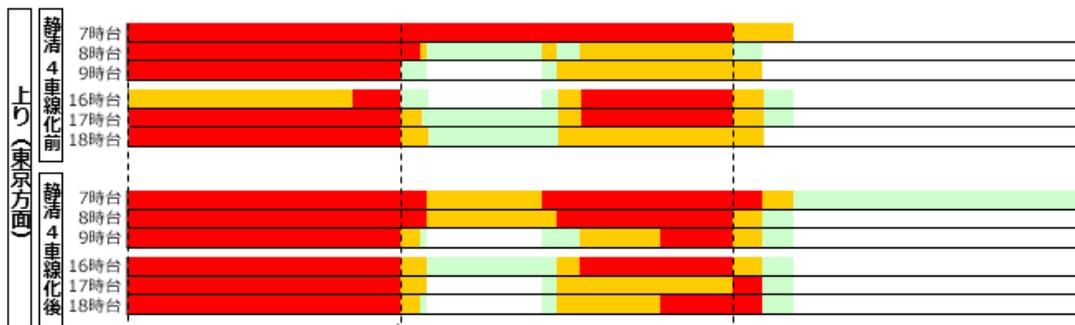
■ 瀬名IC・鳥坂IC交差点の交通状況



※ 旅行速度：4車線化前 ETC2.0データ（H30年6月平日）
 4車線化後 ETC2.0データ（R元年6月平日）

【凡例】 ■：～20km/h ■：20～30km/h ■：30～40km/h □：40km/h～

■ 瀬名IC～鳥坂ICランプ側道部の旅行速度状況



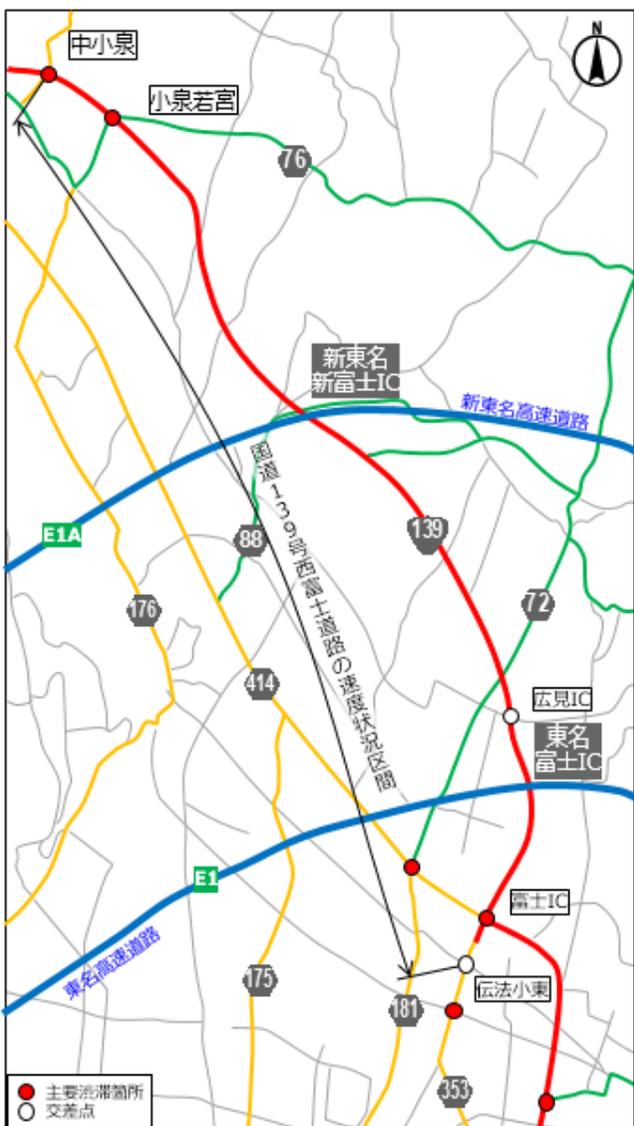
【凡例】 ■：～20km/h ■：20～30km/h ■：30～40km/h □：40km/h～

※ 旅行速度：4車線化前 ETC2.0データ H30年6月平日（時間別平均旅行速度）
 4車線化後 ETC2.0データ R元年6月平日（時間別平均旅行速度）

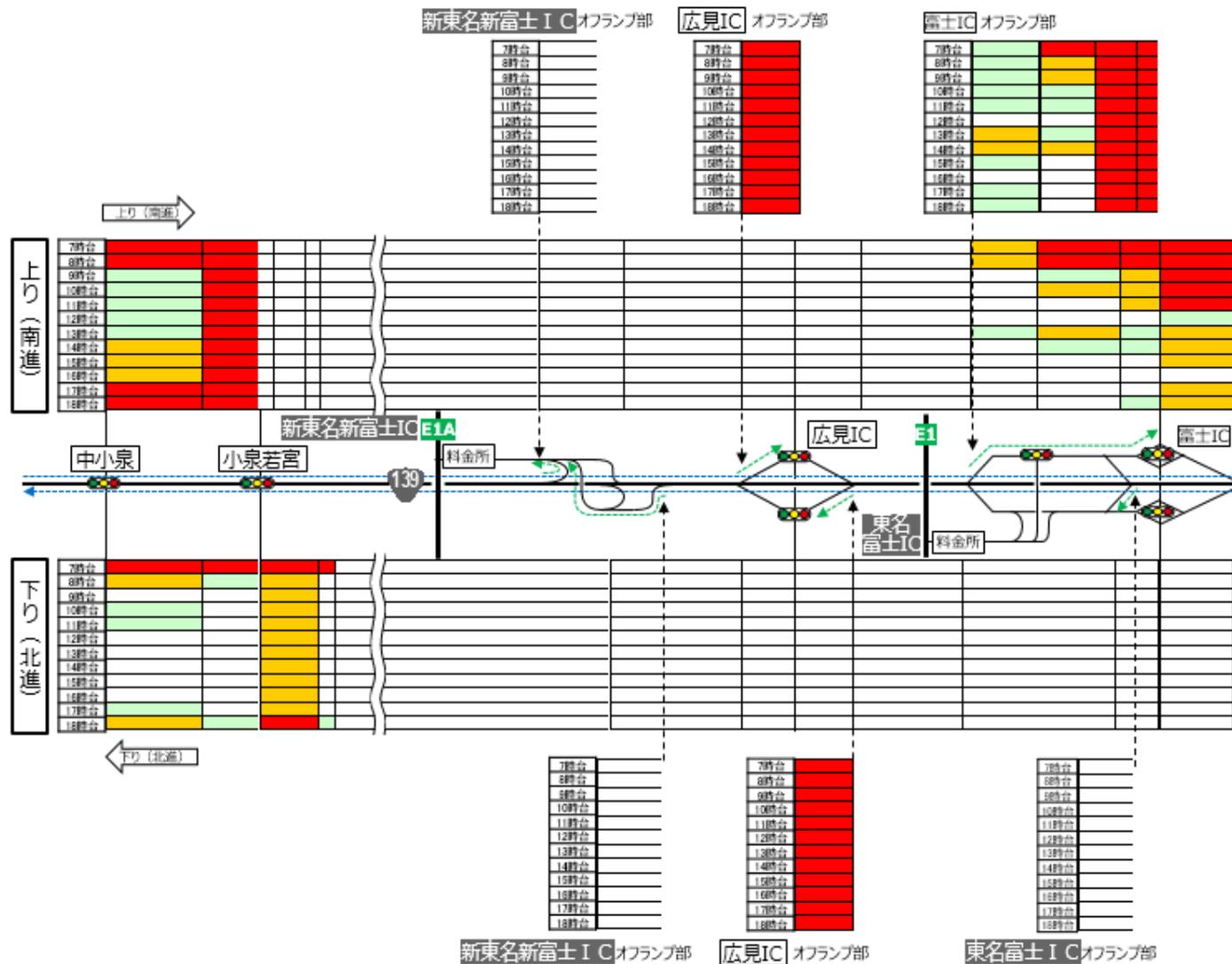
6-1 西富士道路の交通状況

- 本線は、上り（南進）の入り口である小泉若宮交差点において渋滞が発生
- 広見IC、及び富士ICのオフランプにおいて上下線ともに慢性的な渋滞が発生

■ 国道139号西富士道路



■ 西富士道路（本線・オフランプ）の速度状況（平日）



0~20km/h 20~30km/h 30~40km/h 40km/h以上

出典：ETC2.0グローバル情報（2018年10月平日の平均）

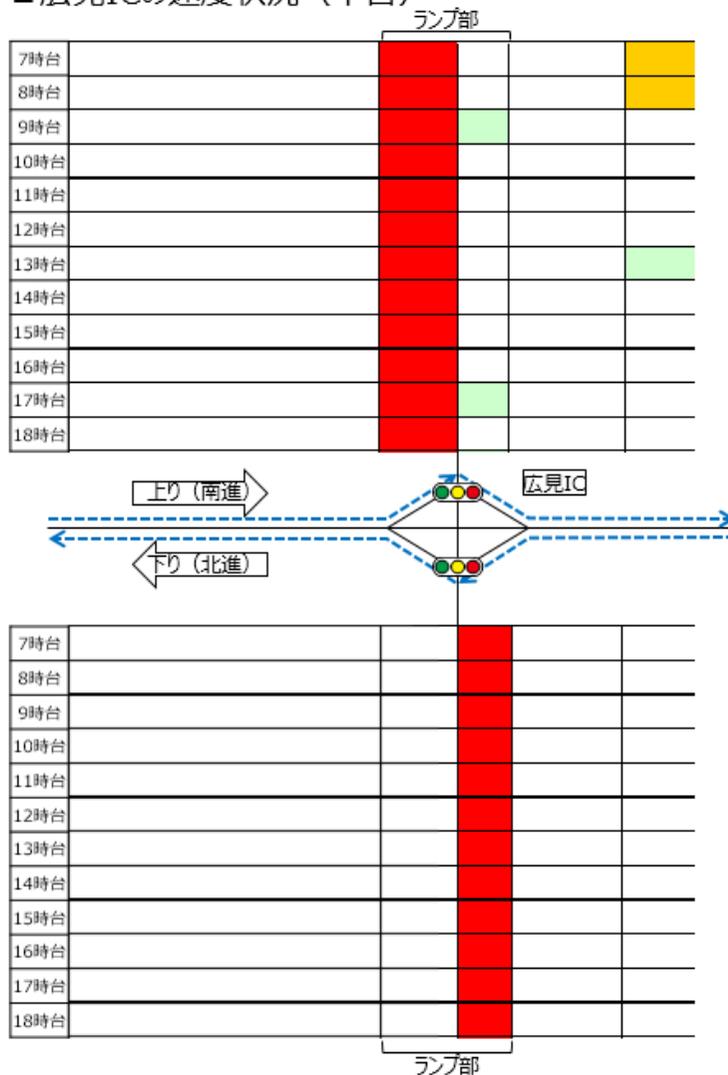
6-2 西富士道路広見ICの交通状況

- 西富士道路広見ICは、本線は問題ないが、オフランプは上下線共に慢性的な渋滞が発生
- 広見ICで交差する市道は、終日、慢性的な渋滞が発生しており、特に交差点西側が渋滞

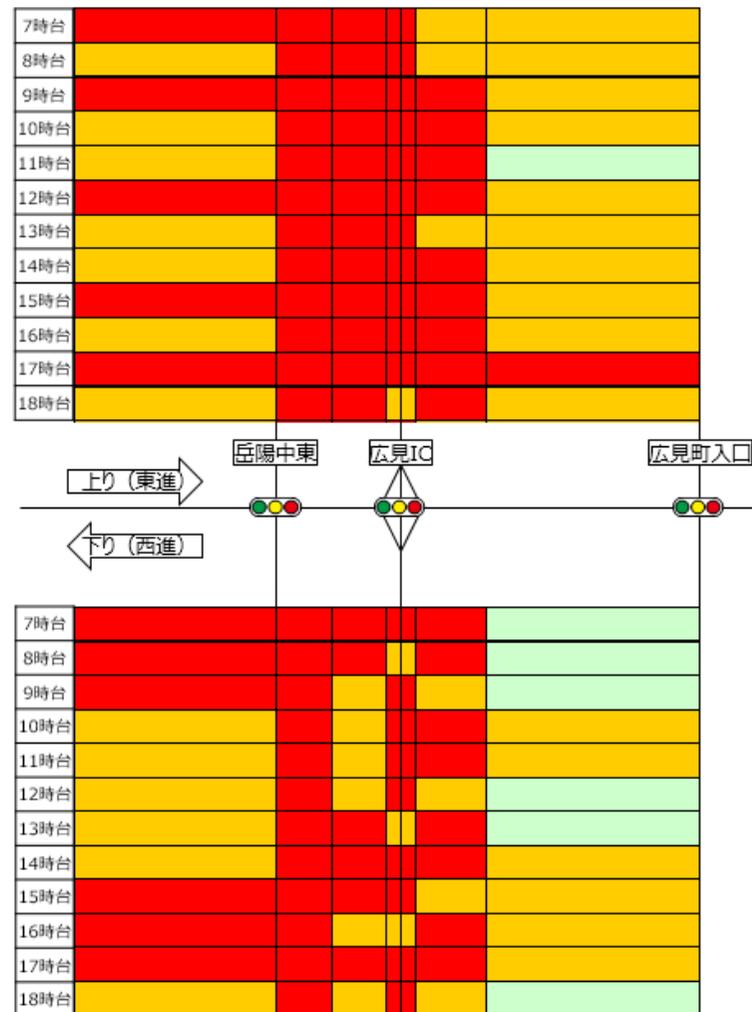
■ 広見IC交差点



■ 広見ICの速度状況（平日）



■ 交差する市道の速度状況（平日）



0~20km/h 20~30km/h 30~40km/h 40km/h以上 出典：ETC2.0プローブ情報（2018年10月平日の平均）

6-3 西富士道路広見ICの利用状況

- 広見IC（北進）オランプは、1号、富士市街地から工場や物流倉庫が集積する工業地域等への交通利用のため、交差点西側（左折）が主方向。特に朝ピーク時には、広見IC交差点からの西富士道路本線分流部まで滞留しているため、今後渋滞対策を検討する
- 広見IC（南進）オランプは、交通量調査を実施し、渋滞の状況、要因分析を進める

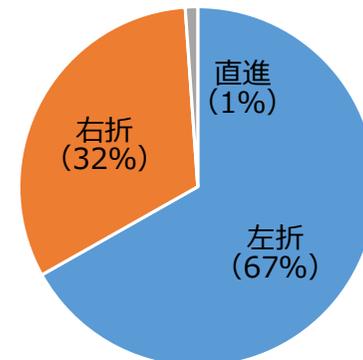
■広見ICの周辺状況



■広見IC(北進) オランプの利用状況



広見IC（北進）オランプ
右左折率（8時台）



広見IC（北進）オランプ状況（8時台）

1車線を2列で利用



出典：国土地理院（航空写真）

出典：現地踏査結果（H29.2/17（金）、8時台）

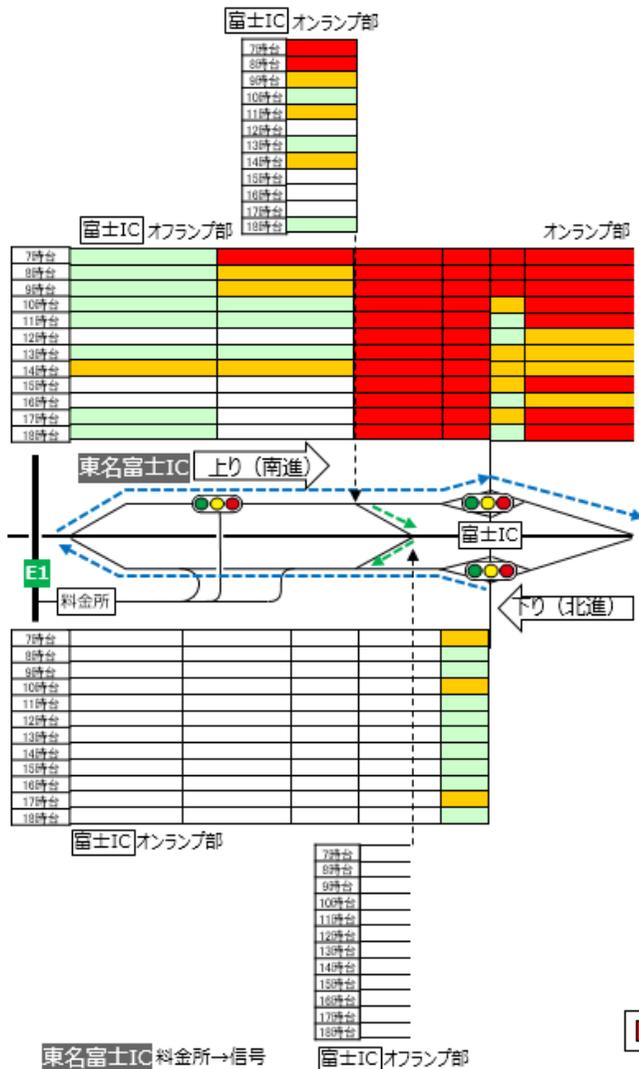
6-4 西富士道路富士ICの交通状況

- 西富士道路富士ICは、上りオフランプ、及び上りオンランプにおいて渋滞が発生
- 富士ICで交差する国道139号は、交差点東側で渋滞が発生
- 富士ICにおいて交通量調査を実施し、渋滞の状況、要因分析を進める

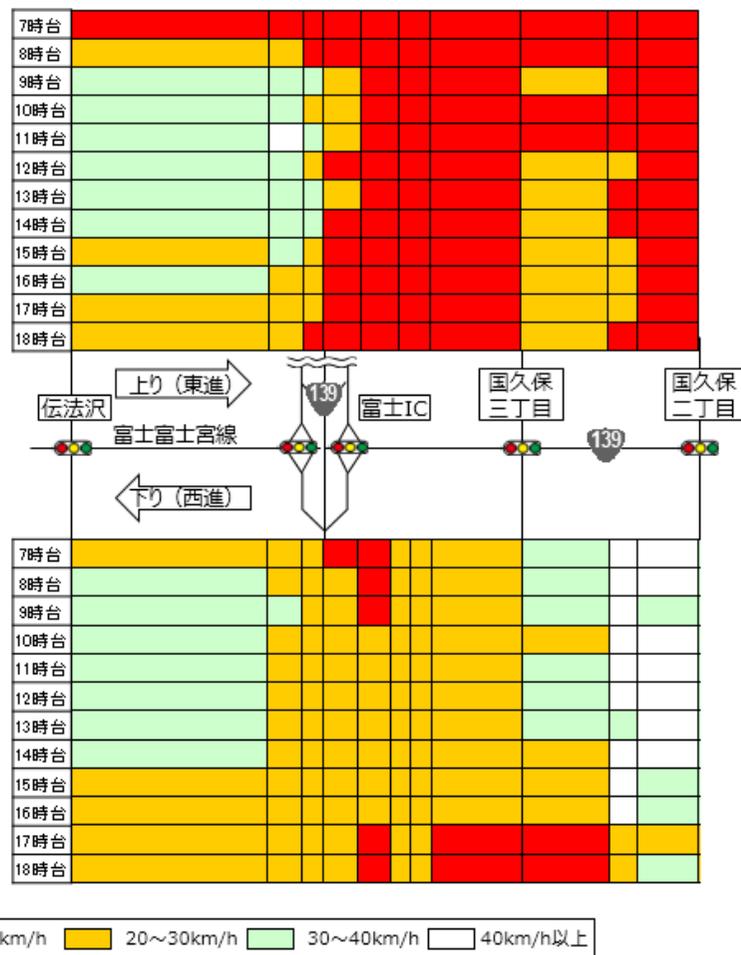
■ 富士IC交差点



■ 富士ICの速度状況（平日）



■ 交差する国道139号・県道の速度状況（平日）



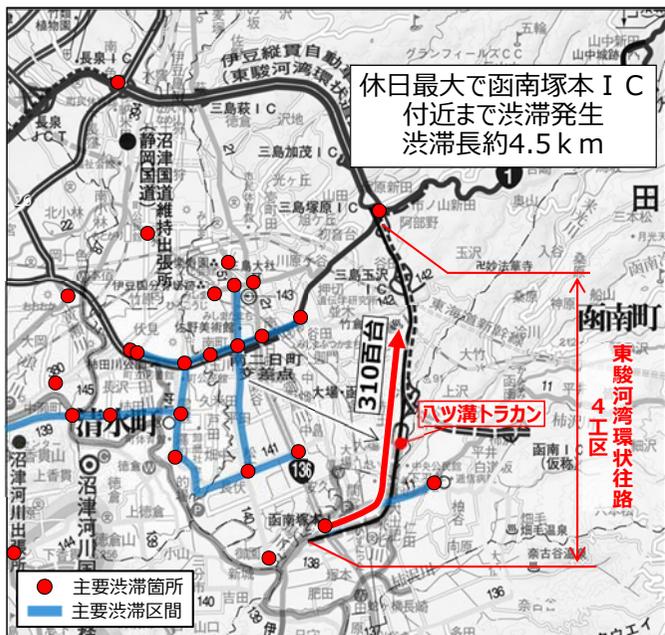
出典：ETC2.0プローブ情報（2018年10月平日の平均）

7. 東駿河湾環状道路（実施主体:国交省）

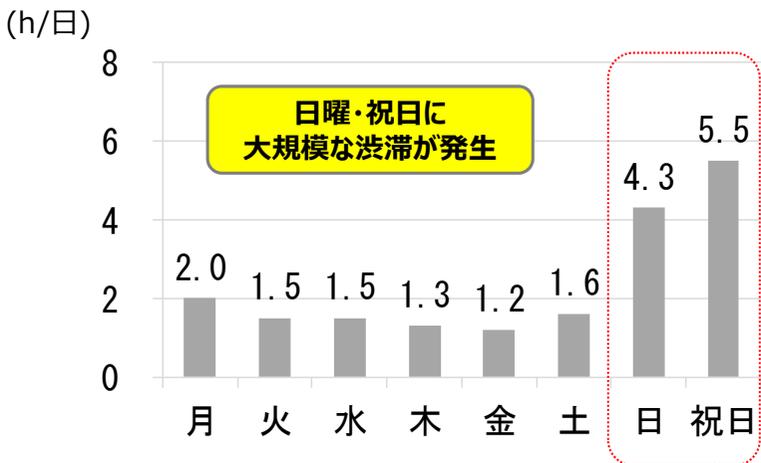
7-1 サグ部の混雑状況

- 東駿河湾環状道路は休日の夕方を中心に伊豆半島の観光客の帰路となる交通が集中。
- 大場・函南IC付近下り線側（沼津方面）は、I C合流後から上り坂となっており、無意識のうちに走行速度が低下することにより渋滞が発生。

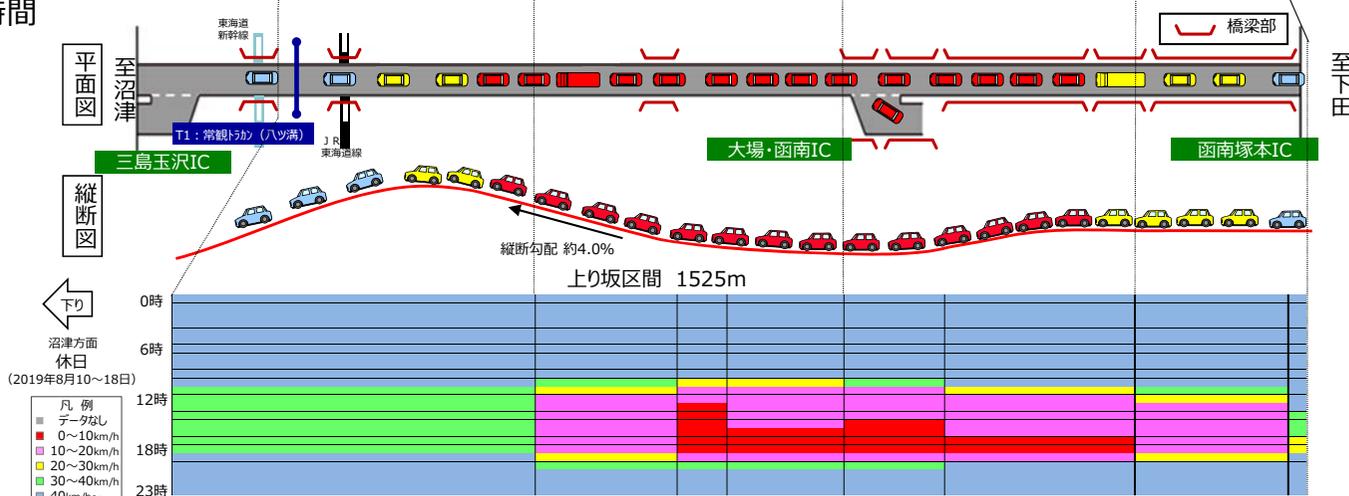
■位置図



■東駿河湾環状道路（4工区）の曜日別速度低下時間



出典：速度低下時間、速度：2018.1~2018.12ハツ溝トラカンデータ（下り線）
速度低下判定はトラカンデータで速度40km/h未満の時間帯を集計



出典：ETC2.0プローブ情報分析結果（2019年8月10~18日）

7. 東駿河湾環状道路（実施主体：国交省）

7-2 これまでの対策内容および今後の対策方針

短期	対策メニュー	実施機関	対策メニュー	実施機関
2014年度	LED表示板設置（3台）にて、“上り坂での速度低下に対する注意喚起”を促す情報提供	国	—	—
2015年度	LED表示板設置（3台）、道路情報板、チラシ配布にて、“上り坂での速度低下に対する注意喚起”を促す情報提供	国	混雑情報をHPにて提供開始（沼津・三島地域）	国・県・市町・観光協会等
2016年度	ビックデータを用いて速度低下位置等を特定し、大型看板設置（3台）、道路情報板にて速度低下に対する注意喚起を促す情報提供	国	混雑情報提供範囲を拡大（上記＋伊豆地域） 主要路線の所要時間を表示	国・県・市町・観光協会等

短期	対策メニュー	実施機関
2017年度	・河津桜まつり等の繁忙期における交通状況を調査し、関係機関（県・市町・観光地）において、時間分散、経路分散などの対策を検討・実施	国・県・市町・観光協会等
2018年度	・夏季観光期に、道の駅、観光協会、観光施設において時間分散、経路分散など促すチラシを配布 ・河津桜まつり期に、道の駅、観光協会、観光施設において時間分散、経路分散など促すチラシを配布、スマートフォン・PCサイトにバナー「河津桜まつり期間中の混雑を回避するテクニック」を設置	国・県・市町・観光協会等
2019年度	・夏季観光期に、出発時間ごとの到着予想時間を試算し、沼津河川国道事務所のHP（特設サイト）で情報提供を実施。同時に、道の駅、観光協会、観光施設において時間分散、経路分散など促すチラシ配布を実施。 ・河津桜まつり期に、道の駅、観光協会、観光施設において時間分散、経路分散など促すチラシ配布、特設サイト設置を予定（夏期観光期の交通状況を踏まえ、更なる周知方法を検討）。	国・県・市町・観光協会等



中期	対策メニュー
2019年度	・付加車線の設置



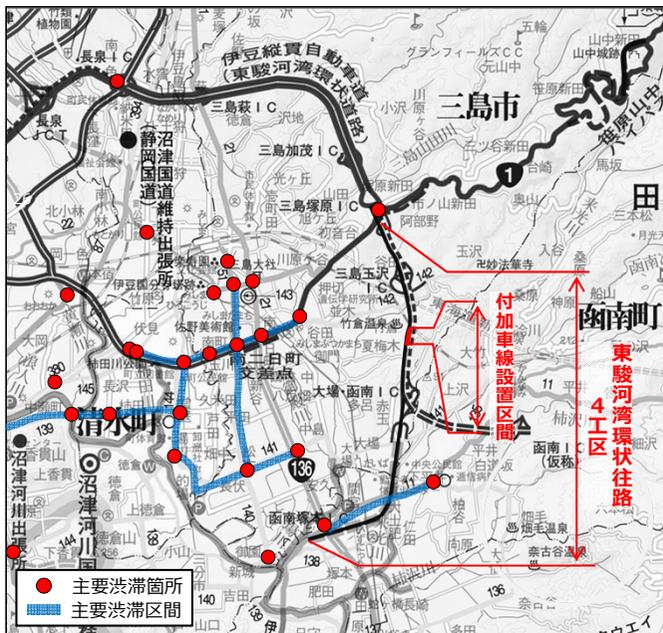
長期	対策メニュー（案）
	4車線化

7. 東駿河湾環状道路（実施主体：国交省）

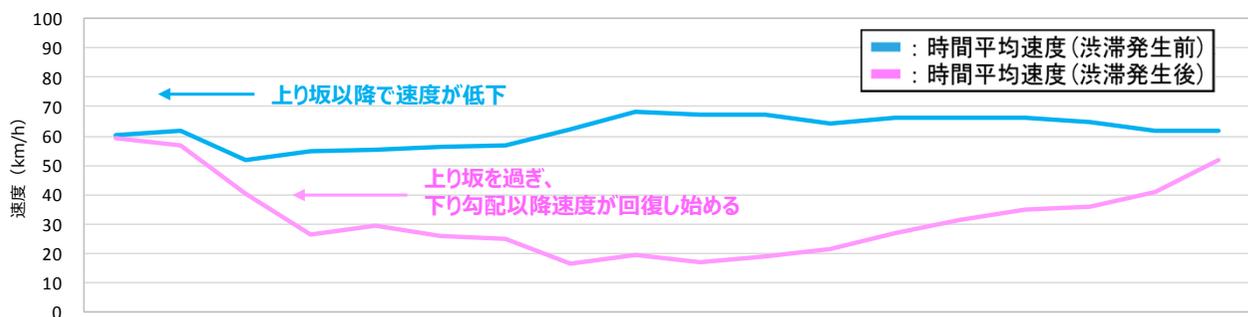
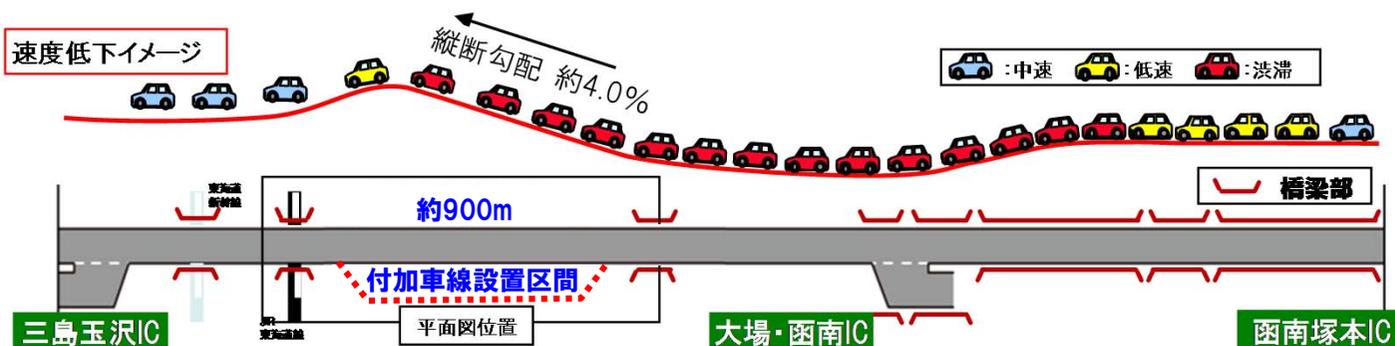
7-3 付加車線の設置

- 東駿河湾環状道路の休日や観光期等の渋滞対策として、大場・函南 I C 下り合流後の上り坂から約 900 m に付加車線を設置。
- 付加車線設置後、休日や観光期等の交通状況をとりまとめ、効果検証を実施。

■位置図

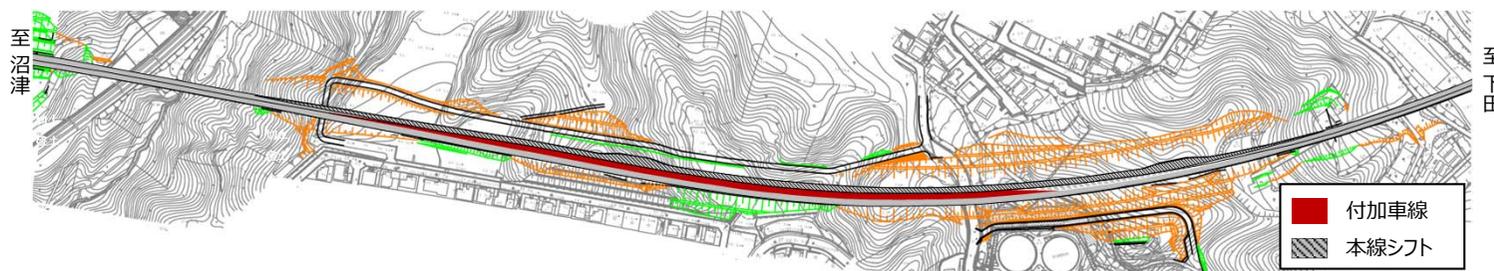


■付加車線の設置



ETC2.0データ(2019.8.10~18) ※渋滞発生前：9時台、渋滞発生後15時台

拡大図（平面図）



路線名：東駿河湾環状道路

《実施年度》
2019年度～

《実施機関》
沼津河川国道事務所

《取り組み内容》
付加車線の設置

9. 修善寺駅周辺渋滞対策（実施主体：静岡県）

9-1 事業予定

- 修善寺駅周辺では主要渋滞箇所である横瀬交差点及び連続した3交差点が近接しており朝夕の通勤時間帯を中心に渋滞が発生
- このうち駅北口交差点は、駅方向に右折する車両が多く渋滞の要因となっていることから、既存の道路用地を有効活用し右折レーンを設置する
- あわせて、中伊豆から三島へ向かう駅周辺の通過交通を分散させるため、迂回ルート案内する交通誘導施策を実施する

■位置図

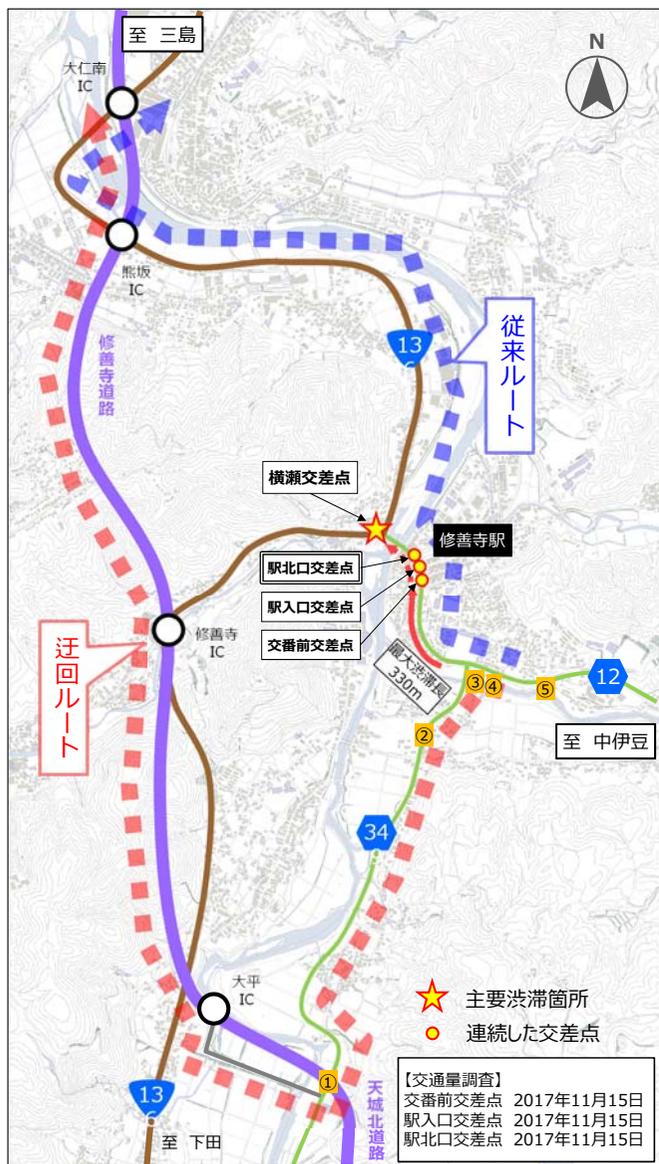


「緒元」
路線名： 県道伊東修善寺線
箇所名： 修善寺駅周辺

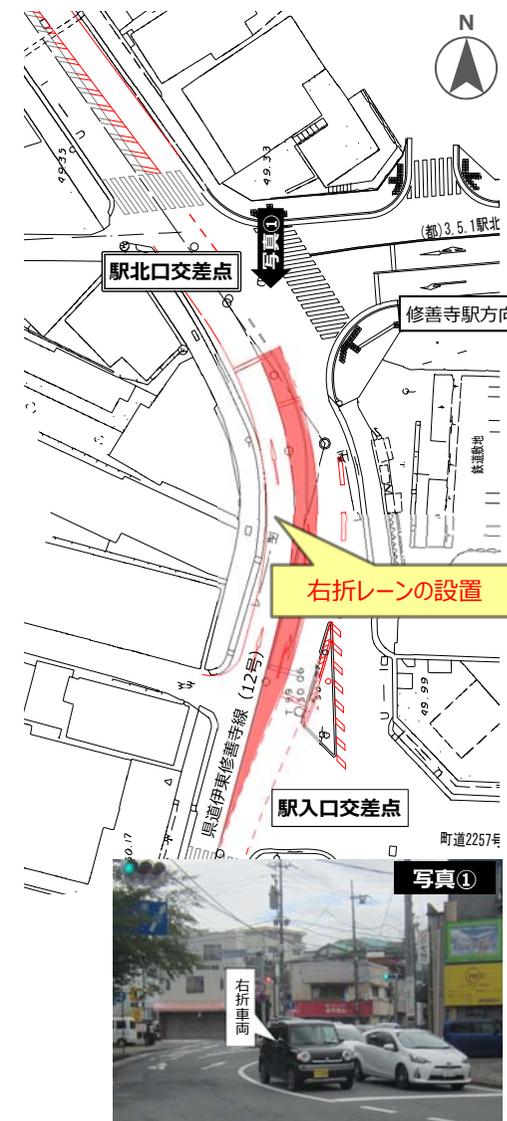
「実施年度」
2018年度～

「実施機関」
静岡県

「取り組み内容」
交差点改良（右折レーン設置）
迂回誘導看板設置



■駅北交差点の右折レーンの設置



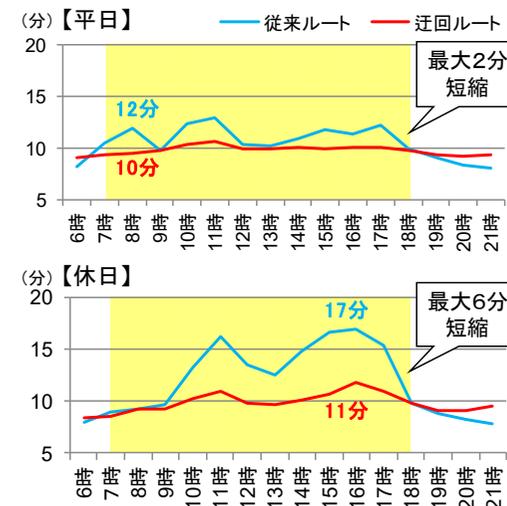
■駅周辺を迂回させる交通誘導策

従来ルート	中伊豆→県道12号線→国道136号→三島
迂回ルート	中伊豆→県道349号→市道→天城北道路→修善寺道路→三島

＜案内看板＞



＜通過時間＞



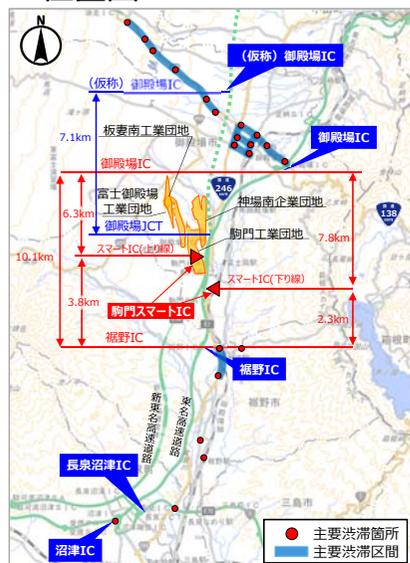
※2017.11 民間プローブデータより算出

10. 駒門スマートICの設置[スマートIC整備] (実施主体:御殿場市)

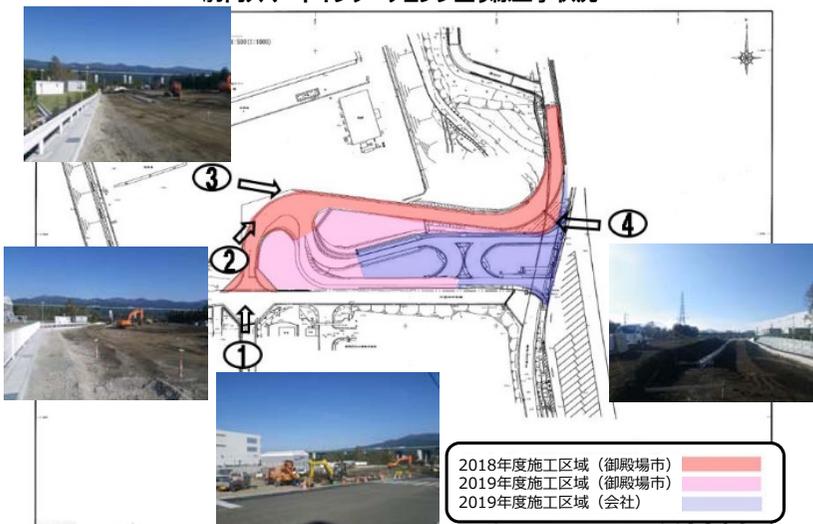
10-1 事業予定

- 東名高速道路駒門スマートICは、2016.5.27に新規事業化し、2020年3月末に開通予定。
- 「工業団地直結のスマートIC」により、高速道路までのアクセス時間が短縮され、企業活動・物流の効率化が期待されるほか、内陸フロンティア推進区域に指定された「板妻南工業団地」への企業誘致促進に繋がる。
- 駒門スマートIC予定地周辺の駒門工業団地における企業ヒアリング調査の結果、駒門スマートIC開通後は駒門スマートICの利用を予定されており、裾野ICの交通量が減少することが予想されるとの期待の声。

■ 位置図



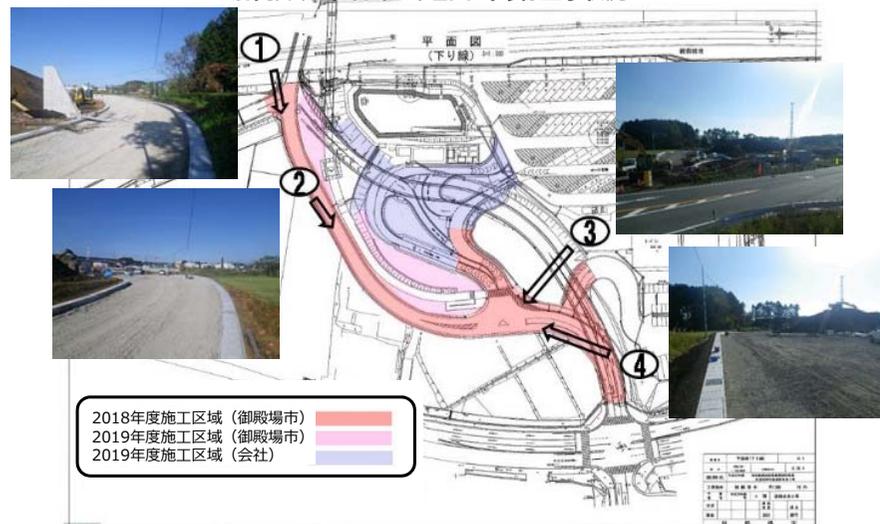
駒門スマートインターチェンジ上り線工事状況



東名高速道路 駒門スマートインターチェンジ上り線完成予想図



駒門スマートインターチェンジ下り線工事状況



東名高速道路 駒門スマートインターチェンジ下り線完成予想図



11. 伊豆中央道 江間交差点 立体化（実施主体：静岡県、静岡県道路公社）

11-1 事業予定

- 東名・新東名から伊豆市までの間で唯一残る信号交差点であり、伊豆地域が観光で賑わう休日を中心に慢性的な渋滞が発生。
- 2020年6月までの完成を目標に事業中



■ 事業概要

2020年東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技が伊豆市で開催されることを踏まえ、2020年6月までの完成を目標とし、当該交差点の立体化及びIC設置の付替え事業に着手



■ 計画概要

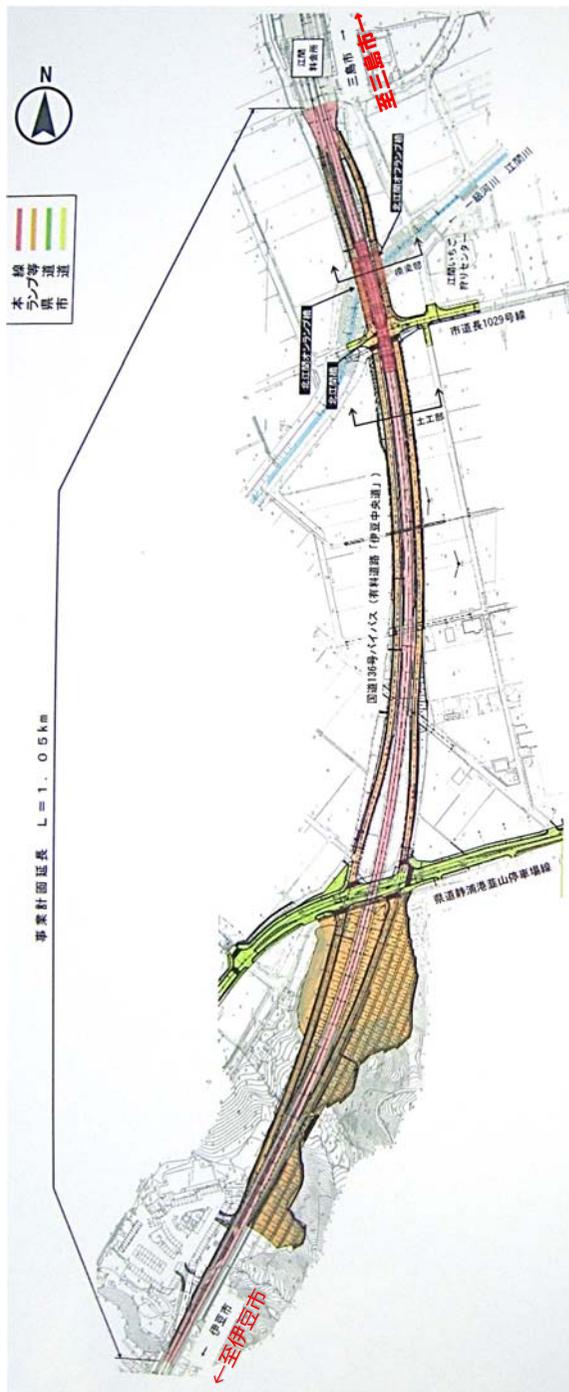
有料道路名	伊豆中央道	
路線名	一般国道136号	
区間	静岡県伊豆の国市 南江間～北江間	
延長	1.05km	
本線	道路の区分	3種2級
	設計速度	60km/h
	車線数	2車線
ランプ	ランプ種別	D規格
	設計速度	30km/h
	車線数	1車線

■ 立体交差点部完成イメージ（江間いちご狩りセンター付近から）



11. 伊豆中央道 江間交差点 立体化（実施主体：静岡県、静岡県道路公社）

11-2 伊豆中央道 江間交差点 立体化（工事進捗状況）



迂回路設置による本線工事施工状況

2019年3月撮影



オンオフランプの施工状況



橋台・橋脚の施工状況



2019年3月撮影

12. 葦山反射炉における経路分散による渋滞対策（実施主体：静岡県、伊豆の国市）

12-2 葦山反射炉における経路分散による渋滞対策（看板設置状況）



13. 結論(案)

13-1 結論(案)

- 国道1号安新歩道橋交差点においては、国道1号浜松バイパス方面への交通渋滞・交差点部における追突事故が発生しているため、調査設計を実施し、国道1号方面レーンの2車線化に向け協議を進めていく
- 国道1号掛川バイパスにおいては、下り線の西郷IC付近で交通集中・道路構造による速度低下が発生しているため、下りオフランプ部の改良・サグ部へのSL看板の設置を行い、渋滞緩和及び交通事故の防止を図る
- 国道1号現道長沼交差点については、令和元年9月14日の日本平久能山SIC開通により、交通量の増加が想定されるため、混雑の要因分析、対策の必要性・方向性について、重点的に検討することを目的とした新WGを設置する
- 主要な南北の道路と接続する国道1号静岡バイパスのIC部においては、清水立体の整備により交通量の増加が見込まれるため、将来ネットワーク整備による影響を踏まえた渋滞対策を検討する
- 富士地域においては、西富士道路広見IC、及び富士ICのオフランプにて慢性的な速度低下が発生しているため、今後、交通量調査を実施し、渋滞の状況、要因分析を進める

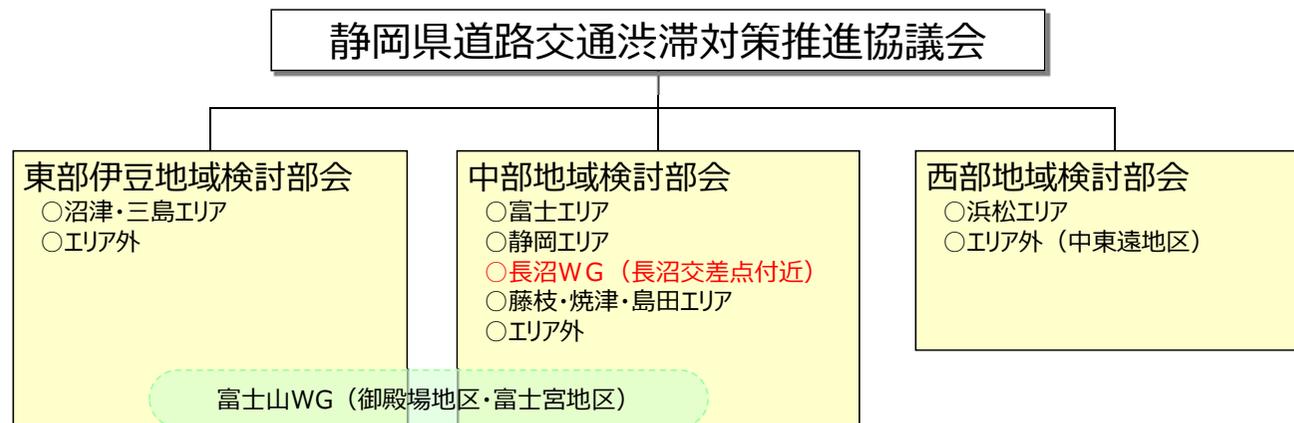
13. 結論(案)

- 東駿河湾環状道路においては、休日の夕方を中心に交通が集中しているため、大場・函南IC下り合流後約900mに付加車線を設置し、効果検証を実施する
- 国道1号愛鷹SICへ交通誘導を行うため、愛鷹SICへ案内する横断幕に加え、その手前から愛鷹SICへ交通を促す看板を増設する
- 修善寺付近では朝夕の通勤時間帯を中心に渋滞が発生しているため、駅北口交差点に対する右折レーンの設置・中伊豆から三島方面への迂回ルート案内する交通誘導施策を実施する
- 2020年3月末に駒門SICが開通予定であり、これにより高速道路へのアクセス時間短縮、板妻南工業団地への企業誘致、裾野ICの交通量減少などの効果が期待されている
- 2020年6月に伊豆中央道江間交差点立体化が完了予定であり、これにより伊豆地域の観光交通による渋滞の解消が期待されている
- 国道136号韮山反射炉入口交差点では混雑が発生しているため、韮山反射炉への推奨ルートに誘導看板を設置。江間立体化に合わせた伊豆中央道江間IC付近の案内看板増設も実施

13. 結論(案)

13-2 検討体制等

- 地域ごとの検討部会を中心に個々のエリアWGで検討を進め、渋滞対策推進協議会において、各検討部会の検討状況及び結果を報告
- 新たに「長沼WG」を設置することで、関係機関と渋滞対策を検討する



■ 静岡県内の概況

今回追加設置

※エリア等は概ねの範囲を示したものである。

地域 (検討部会)	東部伊豆地域			中部地域				西部地域		
エリア等	沼津・三島 エリア	エリア外 (地区別)	富士山WG	富士エリア	静岡エリア	長沼WG	エリア外 ※静岡エリアの中 で検討	藤枝・焼津・島田 エリア	浜松エリア	エリア外 (中東遠地区)
主な市町 ・地区等	沼津市・三島市・ 長泉町 等	御殿場地区 裾野地区 伊豆地区 (熱海、伊東、 下田、伊豆)	御殿場地区 富士宮地区 (富士山 山麓)	富士市 中心部付近 富士宮市 中心部付近	静岡市 (静岡・清水都心 地区付近)	静岡市 (長沼交差点 付近)	静岡市 周辺部	藤枝市・焼津市・ 島田市中心部 付近等	浜松市・磐田市・ 湖西市	掛川市・袋井市・ 菊川市等
主要渋滞 箇所数 (高速IC出口除 く)	10区間 (26箇所) 単独箇所：13箇所 ※沼津市・三島市・ 長泉町内の 箇所数	9区間 (20箇所) 単独箇所：11箇所 ※御殿場市・裾野市・伊豆 地域の箇所数	8区間 (17箇所) 単独箇所：9箇所 ※富士市・富士宮市内の 箇所数	19区間 (40箇所) 単独箇所： 11箇所	2区間 (13箇所)	単独箇所： 2箇所	7区間 (20箇所) 単独箇所： 10箇所 ※藤枝市・焼津市・ 島田市・吉田町内 の箇所数	17区間 (54箇所) 単独箇所：31箇所	単独箇所： 14箇所	
高速IC出口	-	御殿場IC出口	-	静岡IC出口	-	-	-	-	-	
事務局	沼津河川国道事務所			静岡国道事務所				浜松河川国道事務所		

※令和元年度削除箇所反映